

まえがき

I、江戸時代から仏教が変容した

次の表のように、江戸時代に入り、仏教が変容しました。
この表に示されたしきたりは、現在まで続いてきました。

江戸時代にゆがめられた仏教のしきたり	
① キリスト教禁止令	1600年関ヶ原の戦いで、徳川氏の覇権は確立し、1603年に江戸幕府が始まった。1612年に直轄領にキリスト教禁止令を出し、キリスト教を封じ込めた。
② 檀家制度	1635年に寺社奉行を設置し、檀家（寺請）制度を作り、日本人全員が、いずれかの仏教宗派に属する仕組みが作られた。
③ 死者はお墓に宿る	江戸時代に入る前までは、死者は浄土に行くと考えられていたが、江戸時代に入って、死者はお墓に宿ると考えるようになった。
④ 供養の主役は遺族	死者は遺族が供養するものとされ、遺族が供養することにより、死者は救われるものとなった。
⑤ 戒名、法名	戒名、法名は鎌倉時代に禅宗によって、中国から伝来した。インド仏教にはなかった。輪廻の渦中にあり、死ぬたびに、戒名をつけるのは、いかがなものか？
⑥ 位牌は仏壇に祀る	位牌に生命が宿ると考えられ、仏壇に祀られる。
⑦ 葬式・法要	檀家制度の下で、仏教は葬式仏教となった（64）。
⑧ お盆の行事	仏教伝来以前から、先祖供養をする霊祭りという風習があり、正月と盆に先祖を家に招き供養していた。これは仏教の行事ではない（54・55）。

ところが、次のIIのとおり、「お釈迦様の教えと死後の世界」が判明し、「社会構造の変化」が起きました。

II、お釈迦様の教えと死後の世界・社会構造の変化

お 釈 迦 様 の 教 え		
A	供養は不要	お釈迦様は「供養は不要」と教えておられます(56)。
B	死後のことは考えるな	しかし、2500年が経ち「新しく判明した事実や社会構造の変化」により、死後の世界を解明するときは訪れた(1)。



死 後 の 世 界 が 見 え て き た		
C	死後階層図が届く	「シャーロックホームズ」の作者で、医師のコナン・ドイル先生が、死後にあの世から送ってきたもので「コナン・ドイルの人類へのスーパーメッセージ」である(23)。
D	R 界	筆者は簡略にR界としたが、精神界の全体を称したものである(23)。
E	A 界	「死後階層図」ではアストラル界が上層部・中層部・下層部に区分されている。筆者は上層部・中層部をA界とした(23)。
F	幽 界	アストラル界の下層部を筆者は「幽界」とした。幽界が作られたため、「輪廻」が始まり、「輪廻を解脱」する方法を本書で解き明かしている(23)。
G	浮遊界	「死後階層図」の中には入れる「死者」は、あの世には入れた「死者」である。「この世」と「あの世」の中間に浮遊界があり、「あの世」に行けない「死者」がいる(24)。

社 会 構 造 の 変 化		
H	子どもは大都市へ	経済の発展とともに、産業構造が、変化し、就業者が一次産業から三次産業にシフトしてきた。子どもは田舎を離れ、大都会で暮らし、家庭を築いている(72)。
J	親は田舎に残る	田舎の大家族は崩壊し、田舎には親が残り、親は老後を自活せざるを得なくなった(73)。

III、現代版・仏教改革がはじまる

400年振りに仏教のしくみが大きく変わる	
①江戸からのしきたり	変 わ る 点
②檀家制度が消える	特に、田舎では、大家族が崩壊し、子どもが田舎から離れていき、檀家制度が消えていく。
③死者はお墓に宿ってはいけない	「死者」は「あの世」に行くものであり、お墓に宿ることはあり得ない(67)
④供養は不要	「供養」をしても、先祖が良くなることはない。因果応報・自己責任の世界である(56・57)。
⑤戒名、法名は不要	輪廻で生まれて死ぬことを繰り返している。死ぬたびに戒名をつけても意味がない(62)。
⑥位牌も不要	生命が位牌に宿るとされるが、位牌に宿るのは浮遊霊であり困る。仏壇は、ご本尊を祀るものであり、位牌を祀るのは厳禁(63)。
⑦葬式・法要なしに	「供養」に効果がないので、葬儀・法要がどんどん崩れていく(64)。
⑧お盆の行事	お盆や正月に、先祖が家に帰る習俗が仏教以前にあった。お盆の行事は仏教行事ではない(54・55)。

IV、そして 本書が開かれる

新しい歴史的事実の発見	
①流刑地ゴミ捨て場	宇宙人の生命を持つ・サアラ先生によって、地球と人類の歴史が明らかにされた。1万数千年前より、地球が宇宙の囚人の流刑地となり、悪人のゴミ捨て場として、利用されていた(14)。
②幽界が作られた	この囚人たちを「命の神様」の元へ還らせないように、宇宙人は幽界を作り、幽界から地球に生まれ変わる「輪廻のしくみ」を作り、今日に至っている(16・25)。

「悟り」から「輪廻解脱」へ目標を変更する	
仏教の目標の「悟り」は、お釈迦様が難行苦行の末に「悟られた」もので、衆生が全員「悟れる」ものではない。衆生は輪廻の渦の中で苦しんでおり、この「輪廻」から「解脱」をし、A界に入れば、自動的に進級し「命の神様」と一体となり「悟れる」のである（9・10）。	
「輪廻解脱」の方法は幽界をスリ抜ければよい	
生き方	生きているうちから、「あの世」の基準に合わせた「生き方」をすること。常に「人生回顧」と「言動修正」をすること（36・37）。
死に方	「死んだ」とき、幽界で「暗闇に飛び込み、光のお迎えについていきさえ」すれば、A界に入れる（38）。
幽界での考え方	幽界から先に進めないときは、「この世への執着を断ち切りA界へ行く覚悟をすれば」道が開ける（39）。
衆生を救う本書の目的	死者の20%が浮遊界をさまよひ、76%が輪廻を繰り返し、4%しかA界には入れない。20%+76%=96%の衆生を救うのが本書の目的である（28）。

輪廻から解脱すれば「悟りの道」に入れます。本書は「輪廻解脱の方法」を述べています。つまり、本書で「悟れる」のです。

読まれた後は、あなたの愛する人に本書を推薦してください。

この度は、東和空師^{ひがしわこう}のご推薦を賜り厚くお礼申し上げます。

また、本書は「老後の住まい」の第二弾として、執筆しました。前回同様に当社スタッフの過部令子さんにはPCの打ち込みで大変お世話になりました。この場を借りてお礼申し上げます。

2023年8月

世直シ作家・税理士 黒木貞彦

目次

まえがき i

第1章 仏教の目標を「悟り」から衆生を救う「輪廻解脱」に変える

1	お釈迦様は死後のことは考えるな ……………	2
2	お釈迦様は「人間の生き方」を説く ……………	4
3	仏教が目指す「悟り」とは ……………	6
4	天台宗の特徴と真言宗の特徴 ……………	8
5	浄土宗の特徴と浄土真宗の特徴 ……………	10
6	時宗の特徴と日蓮宗の特徴 ……………	12
7	臨済宗の特徴と曹洞宗の特徴 ……………	14
8	仏壇はご本尊のみをまつる ……………	16
9	各宗派の「悟り」は個人競技である ……………	18
10	衆生を救う「輪廻解脱」を目標に ……………	20
11	「死後のことを考える」時が来た ……………	22
	コラム1 浄土真宗は輪廻しない/24	

第2章 新発見の地球と人類の歴史、戦争が続く世界の動向

12	「あの世の本当のしくみ」の紹介 ……………	26
13	根本原因は地球と人類の歴史にある ……………	28
14	地球が流刑地となり「幽界」が設置 ……………	30
15	地球は2300年前までゴミの捨て場 ……………	32
16	「幽界装置」は壊し始めるが残る ……………	34
17	許されない露のウクライナ侵攻 ……………	36
18	中国は台湾・フィリピンと戦うのか ……………	38
19	スーチーさん33年の禁錮刑 ……………	40
20	広島の不戦の誓いを忘れたか ……………	42

21	防衛費増額は必要なのか？	44
22	際限のない軍拡競争は避けよ	46
	コラム 2 地球の全人類は落第生ばかり／48	

第3章 幽界の罨にはまり76%の人が「輪廻コース」の渦の中

23	あの世のしくみ（死後階層図）	50
24	「浮遊界」には行くな（第1分岐）	52
25	幽界が創られている	54
26	死後2つのコースに分かれる	56
27	幽界からの「輪廻コース」	58
28	幽界にとどまるか地球に輪廻する	60
29	自分が創った神に裁かれとどまる	62
30	管理者から虐待を受けている	64
31	生命に過去世の記憶がない人は注意	66
32	輪廻しても同じ人生を繰り返すだけ	68
33	輪廻を繰り返し擦り切れている生命	70
34	幽界が消える2030年前後の対策	72
	コラム 3 地球人だけが「幽界」に行く／74	

第4章 「転生コース」に進むために「幽界」をスリ抜ける極意

35	幽界をスリ抜ける方法のまとめ	76
36	生前に「生き方」を見直す	78
37	生前に「人生回顧」が大事	80
38	死ぬ時の「考え方」が決め手	82
39	死後に幽界で「考え方」を変える	84
40	幽界では裁かれない	86
41	ニセモノに付いて行くな（第2分岐）	88
42	暗闇を怖がらず飛び込め（第3分岐）	90

43	光の迎えに付いて行け（第4分岐）	92
44	宗教は白紙で旅立つ	94
45	音楽と般若心経で救われた	96
	コラム 4 困った時点でお経を唱えてみる／98	

第5章 「命の神様」に生命をリセット「転生コース」が本当のゴール

46	「命の神様」は「宇宙神」のこと	100
47	「輪廻」と「転生」の違い	102
48	死後～幽界～A界まで	104
49	「転生コース」の全体像	106
50	リハビリセンターがある	108
51	教育・研修機関がある	110
52	「命の神様」に還る	112
53	生命が新品にリセットされる	114
	コラム 5 人類が地球から消えるのが最終目的／116	

第6章 400年ぶりの仏教改革、供養は不要とお釈迦様は教えられた

54	お盆は仏教行事ではない	118
55	お墓参りの風習が消えるのか？	120
56	お釈迦様の教え・供養は不要	122
57	あの世は「因果応報・自己責任」	124
58	死は人生の卒業だからオメデタイ	126
59	あの世での生命の居場所が時代で変化	128
60	寺院は供養から生き方の指導へ転換	130
61	葬儀をしない「直葬」が25%に増加	132
62	輪廻中の死者には戒名・法名は不要	134
63	位牌は仏壇に祀るものではない	136
64	四十九日と年忌法要は続けますか？	138

第7章 お墓の役割は納骨と人生回顧、暮らしが変化し、墓守りがいない

65 お墓の役割が変化した 142

66 第一目的・納骨は遺骨を土に埋める 144

67 生命はお墓に宿ってはいけない 146

68 故人との会話はどこでもできる 148

69 第二目的・人生回顧の場所 150

70 産業別就業者の変化 152

71 人口減少と高齢化 154

72 子どもは大都市に集中する 156

73 親は田舎で自活する 158

74 「墓じまい」が増える傾向にある 160

75 民法上の「お墓の承継者」 162

コラム7 サイバーストーン（ネット上のお墓） / 164

第8章 納骨した墓の守りがいないと、別の「納骨方法」が必要になる

76 納骨方法のまとめ 166

77 合祀する「永代供養墓」 168

78 室内の「納骨堂」 170

79 野外の「樹木葬墓」 172

80 山や海への「散骨」 174

81 伝統的な「本山納骨」 176

82 全国にある「骨佛（こつほとけ）」 178

83 輝く「ダイヤモンド葬」と「0葬」 180

コラム8 手元供養のイロイロ / 182

第9章 これからのお墓の取扱い、承継者がいれば改葬（A）

84 改葬と墓じまいのフローチャート 184

85 承継者がいれば、墓守りを確保する 186

86 承継者がいれば、お墓を建て改葬A 188

87 承継者がいれば、お墓を建てず改葬A 190

88 承継者がいないと無縁墓になり改葬B 192

89 改葬Bは遺骨が残らない納骨にする 194

90 「墓じまい」の進め方 196

91 改葬・墓じまいの手続 198

コラム9 承継者がいなければ墓じまい、承継者がいれば「あ〜と母碑」に改葬 / 200

第10章 残すお墓はメンテフリーの「あ〜と母碑」に改葬する

92 残すお墓は「あ〜と母碑」にする 202

93 「あ〜と母碑」はメンテフリー 204

94 ステップ5までの工事を自由に選択 206

95 ステップ1・SK防草工事 208

96 ステップ2・SK花台工事 210

97 ステップ3・SK系譜工事 212

98 ステップ4・SK意匠工事 214

99 ステップ5・SK回顧工事 216

100 メンテフリーの「あ〜と母碑」配置図 218

コラム10 陶板絵画の入手方法 / 220

あとがき 221

参考図書 222

コラム11 東日本大震災の幽霊が出た実話 / 223

「あ〜と母碑」中国地方工事会社の紹介

（あ〜と母碑・総合工事代理店）株式会社ティ-エス・ハマモト

（あ〜と母碑・意匠工事代理店）有限会社みかげ石材

「あ〜と母碑」に関する問合せ・総合相談

「セミナー・講演受付・個人教授の受付」窓口

（総合相談・講演など受付窓口） 妙合株式会社

凡例

- ①本書は1項目から100項目まで通し番号を打っています。
- ②本文中の（ ）内の数字は参照項目番号です。
- ③本書では、「魂」とか「霊」を「生命」としています。